



農家をお助け・農繁期託児所

戦前の人びとの暮らしは、農業が中心でした。特に二、三月のサトウキビの収穫期は忙しく、幼い子をもつ親は、子連れのままで農作業に参加して、作業が思うほど捗らないこともありました。

こうしたなか、真志喜では一九三四（昭和九）年から農繁期にかかる一か月間、子ども達を預かる託児所が村屋公民館に開設しました。この託児所ができたことで、子を持つ親達は農作業に専念でき、作業の能率も上がったようです。そのことが評価されて、一九三六（昭和十一）年五月に大阪朝日新聞の社会事業団から沖繩代表として、真志喜託児所が表彰を受けました。

当時の真志喜託児所には、四〇人の児童が、朝七時から夕方六時までの時間、託児所で過ごしていました。託児所には、ブランコや砂場、毬太鼓、蓄音機などの設備があったようです。

この時期の日本本土や沖



真志喜の農繁期託児所 1936（昭和11）年

「宜野湾市史」への問い合わせ
教育委員会文化課

八九三一四四三〇

縄は、慢性的な不況にみまわれ、沖繩県は一九三五（昭和十）年に宜野湾村（現市）を経済更正村に指定し、食糧の自給に つとめて農村の生活向上などに取り組んでいました。託児所の存在は、期間限定とはいえ、農業生産を高める上で、少なからず役立っていました。

自転車・オートバイ盗に、ご用心!

宜野湾署管内では、自転車・オートバイ盗が多発傾向にあることから、防犯検挙活動を協力に推進しております。

市民の皆様は、

- 防犯登録を確実に（窓口：近所の自転車店及び警察署）
 - 二重ロックをする（ワイヤーロック、ハンドルロックの活用）
- などを心掛け、愛車を盗難から守りましょう。

また、身近に不振な人・車などを見掛けた場合は、110番または宜野湾警察署（☎898-0110）まで通報してください。



第17回 宜野湾市長杯



一般バスケットボール大会の結果報告

本大会は、市内外で活動する大学・一般チームの交流、技術向上、マナー向上を目的としたもので、3月30日～4月6日の間、市立体育館・市内各中学校体育館で熱戦が繰り広げられました。

- 男子 ☆優勝☆ REAL FAT （参加32チーム）
- 女子 ☆優勝☆ OM ガス石油SS （参加16チーム）



ました。

“どんぶり一杯に魂をこめました”
このキャッチコピーを見逃すわけにはいきません。
今回は、四月十七日に普天間にオープンした「ら一めん・まるよし」さんを訪ねました。

特製のラーメンとつけめんを中心にチャーシュー・メンマ・ネギなどをトッピング。和風とんこつ醤油ベースのスープは、しっかりとした味のなかにも、さっぱり感が潜む極上スープ。このスープが、もちもち麺によく絡みつきます。店主は「老若男女かたよりのないラーメン」を目指したとのこと。

おすすめは、塩たまごのトッピング。半熟の黄身がトロトロ～と麺に絡み、抜群のコンビネーションとなります。疲れた貴方には、備えつけの辛めに仕上げた“おろしニンニク”を！

一日限定八〇～一〇〇食で、売り切れ次第終了となります。五月病も吹っ飛ばす極上ラーメン、まーさんど～！



ら一めん まるよし
住所／普天間2-6-2
☎／893-2228
定休／日曜・祝祭日
時間／AM 11:30～
(売れ切れ次第終了)

